



The 67th Republic Day of India 第67回インド共和国記念日

1月26日はインドの国民の祝日「共和国記念日」です。1950年の同日に共和国憲法が公布されたことを祝うこの日、インド国内ではさまざまな記念行事やイベントが行われており、そこには官民間問わず大勢の日本人も出席しています。昨年インドで日本の新幹線システム導入が決定されるなど、両国関係は新たな時代を迎えようとしています。アジアだけでなく世界の平和と発展のためにも、日本とインド、両国間のパートナーシップの強化が今後ますます必要とされています。

戦略的パートナーシップの深化拡大を

駐日インド大使 ◆◆◆ スジャン・R・チノイ

Sujan R. Chinoy



努力という特徴を持ちます。

友人の皆様、インドと日本は古くから友好関係にあります。この友情は、私達の精神的な親和性、仏教などを通した強い文化的・文明的な絆に根ざしたものです。両国は、民主主義、寛大さ、透明性、そして法の支配の尊重という価値観を共有します。19世紀において成功した日本の近代化は、多くのインドの指導者や有識者にとって大きな刺激となりました。現代の日本は、その優れた業績とともに、インドの指導者、国民の心に同様の称賛の気持ちを起こさせています。

モディ首相が安倍首相の訪印時に述べたように、アジア地域および両国を繋ぐ海洋地域の行く先を形成するにあたり、印日関係は他により深い影響を与えることのできる戦略的なパートナーシップは思い浮かべることができません。インドの経済変革において、日本ほど決定的な役割を果たすパートナーは他にはありません。インド国民の間には、両国の特別戦略的グローバル・パートナーシップに対する比類なき善意と政治的なコンセンサスがあります。インドにおける日本の民間投資は増加しています。私達の民生用原子力協力の覚書は、相互の信頼と戦略的パートナーシップを示す輝かしい象徴です。インドが、その速度、信頼性、安全性で知られる高速鉄道「新幹線」をムンバイ・アーメダバード間に導入を決めたことも、同様に歴史的なことです。

日本の企業にとっては、インドで製造を行うことによって収益性と競争力を高めることのできる大きな余地があります。これに関連し、私達は日本の官民による「メイク・イン・インド」へのコミットメントの強さと、安倍首相が発表した日本企業支援のた

めの1.5兆円の特別枠の創設に感謝しています。私達は、5年間で日本からインドへの融資や投資の額を3.5兆円に増やすという安倍首相の努力を称賛します。「デジタル・インド」、「スキル・インド」ミッションといったその他の多くの旗艦プログラムには、日本企業の参加の余地が大いにあります。2016年3月1日から「ビザ・オン・アライバル（到着ビザ）」プログラムをビジネス旅行者を含むすべての日本人旅行者に対して行うというモディ首相の発表は、あらゆるレベルでの関与を更に促進させることになります。

2015年は、印日関係にとって非常に活発な期間となりました。日本の外務、経済産業大臣、インドの内務、防衛、鉄道、科学・技術大臣による訪問を含む、多くの意義深い訪問がありました。インドのラジャスタン、アンドラ・プラデッシュ、マハラシュトラ、マディヤ・プラデッシュ各州の州首相による訪日、そして京都府、富山県知事による訪印は、両国の州や県レベルでの関わりを深化させました。2016年には、インドの電力・石炭・新再生可能エネルギー閣外大臣やハリヤナ州の州首相が来日し、既に良いスタートを切っています。内務閣外大臣は、今月東京で合同開催された「アジアの価値観と民主主義」に関する第2回 Samvad 会議に出席し、私達の文化的な結びつきは引き続きゆるぎないものとなります。今年の残りのスケジュールも将来への良い兆候を示しています。

私は、印日間の友情と協力を促進するため、皆様と緊密に働くことを楽しみにしています。



インド大統領 ◆◆◆◆ プラナーブ・ムカジー

Shri Pranab Mukherjee
President of India



インド首相 ◆◆◆◆ ナレンドラ・モディ

Shri Narendra Modi
Prime Minister of India

第67回インド共和国記念日に際し、日本国天皇后両陛下、日本政府、そして日本の皆様にご挨拶を申し上げます。また、日本在住のインド人同胞にもご挨拶を申し上げたく思います。

1950年の今日、インド憲法が施行され、それは新しい独立国インドを主権国として民主共和国たらしめ、インドの全市民に「正義、自由、平等、友愛」を確保しました。毎年何百万人もの誇りを持ったインド人が、この節目を慶祝しています。ニューデリーで行われる壮大な共和国記念日パレードは、インドの多くの業績を示しています。日本国首相安倍晋三閣下が2014年の共和国記念日パレードにおいて主賓であられたことは、すべてのインド国民にとって大きな光栄でした。印日関係の偉大な推進者である安倍首相は、2015年12月11日から13日の大変な成功裡に行われたインド訪問により、両国の「特別戦略的グローバル・パートナーシップ」を更に強化しました。インド憲法は、インドの古代文明に起源を持つ私達の民主主義のために、過去66年間にわたり堅固な基礎を提供し続けてきました。平和、非暴力、受容、寛容というインドの伝統は、時間の試練に耐えました。私達がこの成果に誇りを持つことは理にかなっています。

昨年は、ナレンドラ・モディ首相が率いる力強い政府のもと、インド経済は高い成長軌道へと乗りました。世界経済が低成長を続ける中、インドはかがり火として現れたのです。世界のすべての経済大国の中で最も速い成長を遂げる国として、インドの2014年度GDPは、7.3%という目覚ましい成長を遂げ、2015年度においては更に高い7.5%の成長が見込まれています。インドの外交政策は引き続き、安定した平和な地域及び世界環境を構築

日印友好関係のさらなる発展のために

世界の課題解決のため 両国の協力関係を強化

第67回インド共和国記念日に際し、日印協会代表理事・会長として、インド政府並びにインド国民の皆様にご挨拶を申し上げます。

日印関係は、2000年に現職の首相として10年ぶりに私が訪印し、「日印グローバル・パートナーシップ」を樹立して核実験後の日印関係を立て直して以来、順調に進展してきました。特に、安倍首相とモディ首相が両国のリーダーになって以降、両国関係は、外交安全保障や経済のみならず文化や精神面での絆を強調した「日印特別戦略的グローバル・パートナーシップ」へと格上げされました。

昨年12月の安倍首相のインド訪問において、両首相は、ヒンズー教最大の聖地であり、釈迦尊が最初の説法を行ったサルナトをかかえるバラナシ市において、日印の絆の強さを訴えました。この首脳会談は、日印民生用原子力協力協定についての原則合意

とムンバイ・アーメダバード間の高速鉄道計画への日本の新幹線システムの採用という大きな成果をもたらしました。防衛協力やインド各地における日印経済協力の進展、インドの若手人材1万人（今後5年間）の訪日受け入れなども合意されました。両国政府は、国連安保理改革、核兵器廃絶や核軍縮のための国際的枠組みの早期構築、気候変動への対策などの世界的課題の解決のために協力を強化することを誓いました。

日印協会は1903年に設立してから113周年を迎えますが、更に重要性を増す両国関係が一層拡大深化するように引き続き貢献していく所存です。

公益財団法人日印協会
代表理事・会長

◆◆◆◆ 森 喜朗
Yoshiro Mori



次の世代へとつなげる 信頼関係の構築に期待

昨年12月の安倍首相の訪印によって、日印関係の新たなステージが始まりました。両国は2025年という将来に向けて、インド太平洋地域の平和、安定、発展の為に、政治、安全保障、経済、文化、人的交流の幅広い分野に於いて、ともに取り組むことを約束し、深淵で広範な関係を築いていく、真のパートナーとなりました。

その具体的な象徴のひとつが日本の新幹線システムの導入で、日本の技術の粋を集めた新幹線がインドの主要都市間を結ぶ他、物流を担う道路網建設を支え、更には大都市の地下鉄建設を支援するなど、まさに新たなインドが、日本の協力によって作られていくのを目の当たりにすることで、既に良好な両国の国民感情を更に高めることが期待されます。こうしたインドのインフラ整備が、インドが持つ「質の高い豊富な労働力」をキーワードとして推進される時、その具体策が「メイク・イン・インド」に他なりません。

日本の強みである技術力や品質管理と、インドの強みである豊富な労働力を用いて製品化することで、質的にも価格面でも、高い競争力を持った製品を世界に供給することが可能となります。

インドに進出を果たしている日系企業は1,200社程度で、中国に進出している日系企業23,000社の1/19に過ぎず、賃金水準や言語、社会制度、国民感情などの諸点を考えれば、この分野の伸びしろは膨大なものと予測されます。また、インドで働く日本人、日系企業で働くインド人という、互恵の関係の中で培った人的交流が、次の世代に向けた更なる信頼関係、友好関係を築いていくものと期待します。

インドで生まれ、50年に亘って日本に住み、日本に帰化した私個人にとっても、こうして将来に向けて、二つの祖国が真の友好関係を築いていくことは無上の喜びであり、また大正10年に設立された公益社団法人在日インド商工協会の理事長としても、両国関係の更なる発展の為に、一層力を尽くして参りたいと考えます。

末筆ながら、インド共和国の記念日を、心よりお祝い申し上げます。

在日インド商工協会 理事長

◆◆◆◆ 比良 竜虎
Ryuko Hira



総合商社の、つぎへ
三菱商事
www.mitsubishicorp.com

MITSUI & CO.
三井物産株式会社 www.mitsui.com

SUZUKI
スズキ株式会社 www.suzuki.co.jp

Explore
india
with
AIR INDIA
成田・関西よりデリーへ週7便
デリーからインド国内65都市へ
ますます便利にお得な料金で

公益社団法人 在日インド商工協会
ICIJ THE INDIAN COMMERCE AND INDUSTRY ASSOCIATION JAPAN
www.icij.jp

HMI HOTEL GROUP
ホテルクラウンパレス ホテルパールシティ シーパークホテル グリーンパークホテル
旅館 クレストンホテル ホテルウェルネス トップウェルネス
全国26都道府県に7つのブランドで展開する
7つのおもてなし
www.hmi.co.jp
ホテルマネジメントインターナショナル株式会社

HMI HOTEL GROUP
流行をリードする街・銀座の
リバーサイドで憩う
GINZA CRESTON
銀座クレストン
www.crestonhotel.jp/ginza
〒104-0044 東京都中央区明石町8番（聖路加ガーデン）
TEL:03-5550-5700

Find what you seek
Incredible India
インド政府観光局
Indiatourism, Tokyo
〒104-0061 東京都中央区銀座1-8-17 伊勢ビル 7/8F
7/8F, Iseji Building, 1-8-17, Ginza, Chuo-ku, Tokyo 104-0061 Japan
Tel: 03-3561-0651/52 Fax: 03-3561-0655
E-mail: indtour@smile.ocn.ne.jp Website: http://www.incredibleindia.org